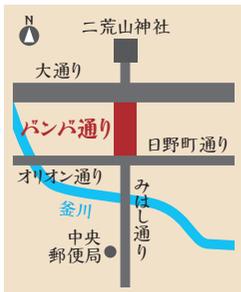




下野の明治・大正・昭和より

◀昭和初期の仲見世
▶昭和32年のバンバ通り

バンバ通り



宇都宮二荒山神社の門前にあるバンバ通りは、昔から宇都宮の顔としてその名をとどろかせていました。明治時代から昭和30年代にかけて仲見世があり、多くの店が立ち並び、全盛期には「宇都宮の浅草」といわれるほど、昼夜問わず人々が集まっていました。門前に

あった広馬場公園がなまって「バンバ」と呼ばれるようになったようです。私が子どもの頃は、学校から帰ってくるとかばんを投げ出してバンバに繰り出していました。手品やカルメ焼きなどの露店が懐かしいですね。特に好きだったのがおもちゃの鉄砲で、的に当たると商品が貰えるので、何回も挑戦したのを覚えています。また、揚げたてのイモをソースにジュウツと入れて食べたイモフライの味は忘れられませんね。

当時、バンバをぶらつくことを「バンブラ」といっていました。皆がバンバで楽しみ、皆に愛されていたのでしょうか。全国的にも先進的だった商業ビル「バンビル」が建てられたり、商店街でも人氣絶頂だったグループサウンズを招いたりするなど、このかいわいはいつも人々の話題の中心でした。

車社会になってからは郊外の商業施設にもお客さんが分散してしまいましたが、再び、当時のようなにぎわいが戻ってくるといいですね。

うつのみや路物語 宮ストリートストーリー

みち
路の数だけ物語がある。
うつのみやの路を紹介
します。



バンバ通り商店街

元会長 ちゅういち
粕谷 忠市さん